

会 社 名 東福製粉株式会社
 代 表 者 取締役社長 野上 英一
 (コード番号 2006 東証第2部・福証)
 問 合 せ 先 総務部長 進藤 孝
 TEL (092) 781 - 1661

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年 11月 21日の決算発表時に公表した中間期(平成19年10月1日～平成20年3月31日)業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

記

1. 20年 9月期中間業績予想数値の修正(平成 19年 10月 1日 ～ 平成 20年 3月 31日)

(1) 個別中間業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月21日発表)	1,900	10	1	1
今回修正予想(B)	1,834	26	9	3
増減額(B-A)	△ 66	16	8	2
増減率	△ 3.5	160.0	—	200.0
前期(平成19年9月期)実績	3,718	△ 72	△ 92	△ 55

(2) 連結中間業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月21日発表)	1,960	27	30	29
今回修正予想(B)	1,886	43	47	41
増減額(B-A)	△ 74	16	17	12
増減率	△ 3.8	59.3	56.7	41.4
前期(平成19年9月期)実績	3,821	△ 40	△ 11	25

2. 理 由

当期は、平成19年11月21日に公表しておりました連結及び個別の中間業績予想に差異が生じる見込みとなりましたので、中間業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、連結及び個別ともに若干下回りはしたものの、ほぼ予定通りに推移しました。しかし、連結及び個別における中間期の営業利益、経常利益、当中間純利益に差異が生じる見込みとなりました。

個別においては、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律の一部を改定する法律」による輸入小麦の政府売渡価格の引き上げによる大幅な粉価の値上げが本年4月に実施されることによる駆け込み需要の増加や粗利重視の営業戦略等により、営業利益、経常利益、当中間純利益ともに予想を上回りました。

連結においては、子会社、持分法適用会社も順調に推移しましたので、当中間純利益は予想を上回りました。

通期におきましては、海外の天候不順及びバイオエタノール等の影響による穀物相場の高騰や原油の高騰などによるコストの増加が続き、依然として厳しい経営環境下にありますので、当初予想のとおり変更はございません。

以 上